

SSK

視覚 障害

昭和五十七年四月一五日SSK通刊第九三四号（毎月六回、5の日、0の日発行）
昭和四十六年六月一七日 第三種郵便物認可



その研究と情報

1982年5月 No.59

ISSN 0385-7476

点字の世界に画期的な辞典！

あなたが点字を書くとき

●わかち書きをすべきか、すべきでないか悩んでいますか？

●数字で表記するのか、かなにするのかで迷っていませんか？

●かな使いをどうしたら良いかでこまっていますか？

●特殊な表記を調べるため、手引書をひっきりかえし、時間をむだにしていますか？

そんなあなたに、この辞典は速く、正確に答えてくれます。

発売元：博文館新社 1500 円

走 る ！

——二人の全盲マラソン愛好家——

杉 本 博 敬さん（63歳、東京都）



昭和56年9月15日、タートル・マラソン河口湖大会（25km）。

伴走者は林田益幸さん（日本点字図書館職員）。



昭和56年12月13日、ホノルル・マラソン (42.195km)。
 伴走者は林田益幸さん。



杉本さんは、点字タイプのアポロプレーラーなどで知られるアポロ製作所の所長である。昭和54年より走り始め、昭和56年には、ハワイのホノルル・マラソンで、フル・マラソン (42.195km) を完走。

杉本さんは、伴走者とひもを持ち合って走っている。

昭和56年4月12日、第5回白根桃源郷マラソン (20km)。伴走者は滝沢政晴さん (日本点字図書館職員)

半 谷 展 男さん（40歳、愛知県）



昭和56年11月29日 瀬戸内海タートル・フルマラソン全国大会（42.195km）



半谷さんは愛知県稲沢市で三療業を開業している。昭和55年から走り始め、昭和56年第2回瀬戸内海タートル・フルマラソン全国大会で42.195kmを完走。この他にも10kmを2回、20kmを2回、30kmを1回、いずれも完走している。半谷さんは長女恵子さん（小学4年生）、次女優枝さん（小学3年生）の運転する自転車にかまりながら走っている。



目 次

1982年 5月 No.59

2 ページ評論	堀本 縣治	2
---------	-------	---

特集 盲人と法律

弁護士への道 — 竹下さんは語る	5
竹下さんのこれからの世界	松永 渉 18
アメリカおよび西独の盲人法律家に会って	竹下 義樹 30

この人 神奈川県職員採用試験に

合格した岡崎学さん	41
-----------	----

80年代の視覚障害児教育 (9)

盲学校体育をノーマライゼーションの理念で

鈴木 重男	44
-------	----

インフォメーション・コーナー	51
----------------	----

編集後記	56
------	----

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

竹下さんの司法試験合格は、私たちにとっては、やはり大きな話題です。竹下さんのこれまでの生きざまや、アメリカ、西ドイツでの研修旅行を中心に、特集を組んでみました。これから、第2、第3の竹下さんが誕生することを期待したいと思います。特集にあたり、堀本、松永両弁護士にご執筆をいただきましたが、堀本先生は、前職が視覚障害関係のお仕事で、NHKの「盲人の時間」などでもおなじみの方、また、松永先生は、日本点字図書館の花島部長と昵懇の方です。お二人とも私たちに対しご理解をいただいております、法律家を目指す盲人の大きな味方になっていただける方です。

この号から、多くの方が購読料更新となります。更新のたびに、購読料を郵送していただかなければならないため、どうしても何人かの方が購読を中断されるようです。それが本誌の普及をはばむ一因になっているようなので、皆さまのご理解とご協力を心からお願いいたします。また、まだ本誌を知らない回りの方にも、ぜひ購読をおすすめいたしますよう、重ねてお願いいたします。

(田中徹二)

視覚障害 1982年5月 №59
年間購読料 2,500円(送料とも)

発行日 1982年5月1日

編集人 (連絡先)

日本盲人福祉研究会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
日本点字図書館内 23番4号

電話 (03) 200-1130

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砦8-21-3

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館